

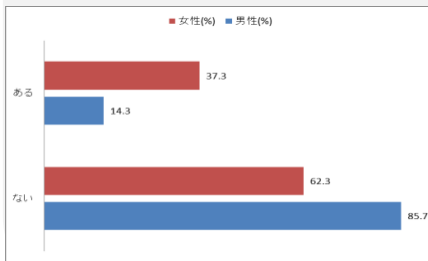
デートDVの効果的な予防対策について

実態調査

デートDVに関するWebアンケートを実施。
 女性:77人 男性:69人
 交際経験あり
 女性:50人 男性:28人

デートDVに関する学習機会の有無

これまでにデートDVについて学んだことはありますか。

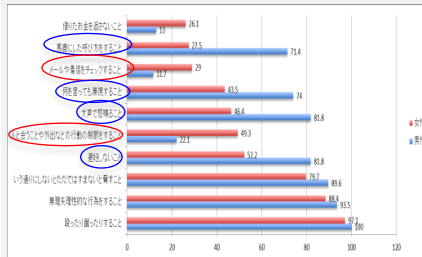


デートDVに関する学習経験が少ない

より情報発信が必要

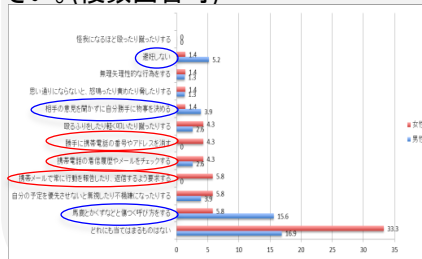
暴力への感度

次のそれぞれの行動について、あなたは暴力と感じますか。(複数回答可)



加害の経験

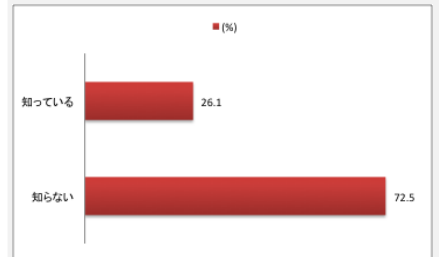
次のような行動をしたことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。(複数回答可)



行動の制限や精神的暴力がDVであると認知していない→男女間で考え方が違う
相互理解が必要

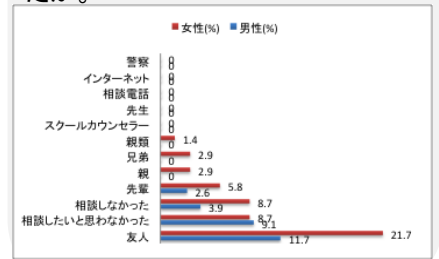
専門機関の認知

あなたはデートDVなどについて専門的に相談できる機関があることを知っていますか。



相談相手

交際相手のデートDVを誰かに相談しましたか。した人は誰に相談しましたか。



身近な人にしか相談しないため、本質的な解決に結びつかない

専門相談機関の周知

目標

デートDVを行う人はモテない・カッコわるい！！！！
 という意識を浸透させる。

若年層が気軽にアクセスしたくなるようなものを利用

アイデア1

相性診断テスト

交際相手の行動について質問

点数が低くなる

DVの事例にYESの回答が出たらそれはDVであると伝える

深刻な項目がYESになるとき

相談窓口を示して相談を促す

アイデア2

恋愛シュミレーションゲーム

DVに該当するような事例を交える

知らず知らずにDVを行うとうましくないようなストーリーを展開

2013年度 プロジェクトデザイン II
 クラス・チーム番号: VA306-3 チーム名: 3班
 メンバー: 中井亜里沙, 中村駿吾, 姫野裕之, 宝達心, 山岸雄介
 担当教員: 加藤未佳先生